

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場取引所 東大

上場会社名 オーミケンシ株式会社
 コード番号 3111 URL <http://www.omikenshi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 龍寶惟男
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 経理・財務グループ担当部長 (氏名) 隅田篤男
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

TEL 06-6205-7300

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	12,666		863		793		2,606	
20年3月期第2四半期	13,804	15.5	128		232		425	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	40.83	
20年3月期第2四半期	7.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	44,082	9,350	20.4	67.29
20年3月期	46,655	12,266	25.5	112.27

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 9,010百万円 20年3月期 11,916百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期 21年3月期				2.00	2.00
21年3月期(予想)				0.00 ～2.00	0.00 ～2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,800	11.0	1,300	46.0	900	82.5	2,800		44.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 社(社名)) 除外 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	66,024,594株	20年3月期	64,888,232株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	31,785株	20年3月期	31,228株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	65,547,979株	20年3月期第2四半期	61,773,411株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]の3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
A種優先株式					
20年3月期	-	-	-	14.045	14.045
21年3月期	-	-	-		
21年3月期(予想)			-	14.495	14.495

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
B種優先株式					
20年3月期	-	-	-	15.295	15.295
21年3月期	-	-	-		
21年3月期(予想)			-	15.745	15.745

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、原油を始めとする原材料価格の高騰やサブプライムローン問題に端を發した世界的な金融不安、円高の進行等により、景気の減速感が強まってまいりました。

このような状況のもと、当社グループは平成20年度を初年度とする中期経営3ヶ年計画『Advance Plan 2010』に基づき、収益力の向上と財務体質の強化に努めております。一方、アパレル業界全体の不振が続く中で、業績が悪化している連結子会社ミカレディ株式会社については、販売網の再編、ブランドの見直し、在庫の圧縮、人員の適正化、固定資産の減損等抜本的な事業再編と経営合理化策を実施することにより早期再建をめざすことといたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は12,666百万円（前年同期比1,137百万円、8.2%の減収）、営業利益は863百万円（前年同期は128百万円の営業損失）、経常利益は793百万円（前年同期は232百万円の経常損失）となりましたが、上記ミカレディ株式会社の再建に係る事業構造改善費用、減損損失等を特別損失に計上したこと等により2,606百万円の四半期純損失（前年同期は425百万円の純損失）となりました。

セグメント別には、繊維事業につきましては、レーヨン部門において引き続き需給が逼迫した中で、生産や価格改訂が順調に推移、またブラジルの連結子会社が好業績を確保いたしました。個人消費の低迷等により婦人服部門の収益が悪化したため、繊維事業全体では前年同期比減収増益となりました。

不動産事業につきましては、販売用土地の売却等があり前年同期比増収増益となりました。

電子事業につきましては、受注確保に努めたましたが、前年同期比増収減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期の総資産は現預金や売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,572百万円減少し、44,082百万円となりました。一方、負債につきましては、長短借入金や仕入債務の減少があったものの、事業構造改善引当金を計上したこと等により前連結会計年度末に比べ343百万円増加し、34,732百万円となりました。また、純資産は「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」を適用したことや四半期純損失を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,916百万円減少し、9,350百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、世界的な金融危機を背景に景気の後退や個人消費の冷え込みなど、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移すると予想されます。

このような状況の下、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高258億円、営業利益13億円、経常利益9億円、当期純損失は28億円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定にあたり加味する加減算項目や税額控除項目を、重要なものに限定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益に与える影響及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

また、当連会計年度における期首の利益剰余金について165百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,205	1,873
受取手形及び売掛金	4,583	5,884
製品	3,022	2,210
仕掛品	711	773
原材料及び貯蔵品	974	1,145
その他	556	1,042
貸倒引当金	9	8
流動資産合計	11,044	12,921
固定資産		
有形固定資産		
土地	27,256	27,302
その他	3,114	3,510
有形固定資産合計	30,370	30,812
無形固定資産	109	108
投資その他の資産		
投資有価証券	1,084	1,204
その他	1,625	1,713
貸倒引当金	146	99
投資損失引当金	5	5
投資その他の資産合計	2,558	2,812
固定資産合計	33,038	33,733
資産合計	44,082	46,655

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,610	5,201
短期借入金	10,919	12,867
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,450	1,550
未払法人税等	281	161
事業構造改善引当金	1,826	-
その他の引当金	276	294
その他	1,165	1,121
流動負債合計	20,528	21,197
固定負債		
長期借入金	1,144	174
繰延税金負債	9,821	9,832
退職給付引当金	2,082	2,111
役員退職慰労引当金	62	78
環境対策引当金	63	-
その他	1,029	994
固定負債合計	14,203	13,191
負債合計	34,732	34,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,255
資本剰余金	2,424	2,374
利益剰余金	3,039	6,074
自己株式	3	3
株主資本合計	10,765	13,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	349	374
為替換算調整勘定	1,406	1,409
評価・換算差額等合計	1,755	1,784
少数株主持分	340	349
純資産合計	9,350	12,266
負債純資産合計	44,082	46,655

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	12,666
売上原価	9,273
売上総利益	3,393
販売費及び一般管理費	2,530
営業利益	863
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	8
物品売却益	194
その他	50
営業外収益合計	255
営業外費用	
支払利息	221
その他	103
営業外費用合計	325
経常利益	793
特別損失	
固定資産売却損	2
固定資産廃棄損	9
減損損失	161
事業構造改善費用	2,648
その他	336
特別損失合計	3,159
税金等調整前四半期純損失 ()	2,365
法人税、住民税及び事業税	230
法人税等調整額	28
法人税等合計	201
少数株主利益	39
四半期純損失 ()	2,606

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	繊維事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	電子事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,475	1,548	989	653	12,666	-	12,666
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	269	-	3	285	(285)	-
計	9,488	1,818	989	656	12,952	(285)	12,666
営業利益又は営業損失()	19	1,165	19	15	1,110	(247)	863

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

繊維事業.....レーヨン綿、紡績糸、編織物、婦人服

不動産事業...不動産賃貸等、住宅建築

電子事業.....電子部品

その他事業...人材派遣等

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	中南米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,830	1,688	148	12,666	-	12,666
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	10,830	1,688	148	12,666	-	12,666
営業利益	914	240	1	1,156	(293)	863

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する国又は地域は、次のとおりであります。

中 南 米・・・ブラジル

その他の地域・・・中国

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	中南米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	1,688	745	2,433
連結売上高(百万円)	-	-	12,666
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.3	5.9	19.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

中 南 米...ブラジル

その他の地域...米国、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額(百万円)		
売上高		13,804	100.0
売上原価		10,863	78.7
売上総利益		2,940	21.3
販売費及び一般管理費		3,068	22.2
営業利益		128	0.9
営業外収益			
1. 受取利息	8		
2. 受取配当金	83		
3. 雑収入	216	308	2.2
営業外費用			
1. 支払利息	280		
2. 雑損失	132	412	3.0
経常利益		232	1.7
特別利益			
1. 固定資産売却益	1		
2. 投資有価証券売却益	78	79	0.6
特別損失			
1. 固定資産廃棄売却損	140		
2. 減損損失	37		
3. 貸倒引当金繰入額	17		
4. 事業合理化特別経費	13		
5. 役員退職慰労引当金繰入額	64	274	2.0
税金等調整前中間純利益		427	3.1
法人税、住民税及び事業税	88		
法人税等調整額	98	10	0.1
少数株主利益		8	0.1
中間純利益		425	3.1

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	繊維事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	電子事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,472	705	951	675	13,804	-	13,804
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12	281	-	8	303	(303)	-
計	11,484	987	951	683	14,107	(303)	13,804
営業費用	11,769	559	952	720	14,001	(69)	13,932
営業利益	284	427	1	36	105	(234)	128

(注) 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は267百万円であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	日本 (百万円)	中南米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,879	1,812	112	13,804	-	13,804
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	11,879	1,812	112	13,804	-	13,804
営業費用	11,849	1,705	110	13,665	267	13,932
営業利益	30	106	2	139	(267)	128

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する国又は地域は、次のとおりであります。

中 南 米・・・ブラジル

その他の地域・・・中国

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は267百万円であります。

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	中南米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	1,812	855	2,667
連結売上高(百万円)	-	-	13,804
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.1	6.2	19.3

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

中 南 米...ブラジル、アルゼンチン

その他の地域...韓国、米国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。